

研修報告書

日時：平成 28 年 10 月 11 日（火）～平成 28 年 10 月 15 日（土）

内容：シンガポール研修（保育施設視察）

1. シンガポールの基本情報

面積 719 km² 東京都 23 区または淡路島と同じくらい

日本との時差 1 時間。経度上の時差は 2 時間だが、株式市場で香港に遅れをとらないために香港に合わせている。

人種 中国系…75%、マレー系…14%、インド系…7%、その他

宗教 仏教…33%、キリスト教…18%、イスラム教…14%、ヒンドゥー教…5%

通貨 シンガポールドル 1 SGD＝約 75 円（10 月 11 日時点）

2. シンガポールの保育事情

キンダーガーテン…幼稚園 対象：3 歳～6 歳 保育時間：3～4 時間

チャイルドケア…保育所 対象：赤ちゃん～ 保育時間：7：00～19：00 1 日または半日利用

以前は幼稚園と保育園の管轄が別々だったが、2 年前から同じ省庁の管轄になった。

- ・共働き家庭が多く、住み込みのメイドを雇っていることが一般的。メイドを雇うため助成もある。
- ・幼稚園・保育園の運営については基本的に政府から施設への補助はなく、保育料が主な収入源となる。
- ・保育料は日本に比べて高額。シンガポール国民には政府から家庭に保育料の補助金がある。
- ・ベビーボーナスアカウント…子どもが 6 歳になるまで親が子どもの教育のために貯金をしたら、同額の積立てを政府がくれる。子ども 4 人までで所得制限はない。社会保障のないシンガポールではこうして教育資金をためる。
- ・出産一時金 70～80 万円と高額な補助金が支給される。
- ・シンガポールでは小学校が 1 月はじまりのため、幼稚園・保育所は 12 月卒園となる。
- ・MOE（教育省）直轄の幼稚園

教育省直轄の幼稚園が最近できた。教育省が作ったカリキュラムに従っている。

現在 15 か所あり、小学校に併設されたりコミュニティエリア（公民館）内につくられている。対象は国民と永住権者のみ。入園するのに所得制限などの基準はないが、地域住民が優先で申し込み順。保育料はシンガポールの相場に比べてかなり安く、待機児童が多い。

半日（4H）150SGD≒約 11,000 円 1 日 375SGD≒約 30,000 円（シンガポール国民の場合）

永住権者は半日で 300SGD≒約 22,000 円

3. 視察報告（全 5 施設）

施設名 ① アセンション幼稚園			
URL	http://kindergarten.ascension.org.sg/ （英語）		
概要	創立 51 年の幼稚園。キリスト教の教会が母体となっている。 保護者もキリスト教の考えに理解がある。 1 年間で 10 週間×4 期に分かれており、期ごとに活動をする。		
受入れ年齢	3 歳～6 歳 職員配置は下記の定められた基準よりも多く配置している。		
	playgroup	18 か月～30 か月	8：1

	<table><tr><td>N1</td><td>30 か月～36 か月</td><td>12 : 1</td></tr><tr><td>N2</td><td>36 か月～48 か月</td><td>15 : 1</td></tr><tr><td>K1, K2</td><td>48 か月～84 か月</td><td>25 : 1</td></tr></table>	N1	30 か月～36 か月	12 : 1	N2	36 か月～48 か月	15 : 1	K1, K2	48 か月～84 か月	25 : 1
N1	30 か月～36 か月	12 : 1								
N2	36 か月～48 か月	15 : 1								
K1, K2	48 か月～84 か月	25 : 1								
保育時間	3 時間 15 分 土地が少ないため 2 部制をとっている。8 時からのグループ、10 時からのグループ									
保育料	「10 週間」で 800～1,000SGD（約 60,000 円～75,000 円） ※教会が運営しており利益追求ではないため保育料を安く設定している。									
カリキュラム 保育内容など	【ビジョン】 ・すべては神様によって導かれる。グローバルに学ぶ。自分たちが受けたものをシンガポールだけでなく世界に、愛をもって貢献する。 ・すべての子は神様からの贈り物で神様から与えられた潜在能力を持っている。すべての子が尊敬をもって育てられるべき。価値観を大切にしている。 ・学ぶことは楽しく意義深くなければならない。遊びをとおして学ぶ。 ・学びの中にアート（ものづくり）を取り入れる。子どもは好奇心旺盛なので、言葉と絵を一緒にする。保育園の外壁面デザインは有名なアーティストに描いてもらった。 【ミッションステートメント】 教育のスローガンを壁に貼る。その下には聖書の言葉がある。 【オスカーオーガナイゼーション】 言葉に出して実践する。＝キリスト教では大切なこと。言葉には力がある。 「最善を尽くす計画」「自分のものを自分で片づける」「先生の話をよく聞く」「時間を大切に使う」など、言葉に出して実践してほしいことを壁に貼っている。 【3 歳児】 「におう」「さわる」時期。アルファベットを使ってものを作り、家で保護者に見せる。 14 人を 2 つのグループに分け、7 人はアルファベット、7 人は外あそび。 7: 1 の職員配置で 1 人の先生が少人数を見ることで子どもたちが理解しているのかがわかる。 【4 歳児】 4 つのクラスに分かれている。コンサート・外遊びなど、時間を決めてベルを鳴らし、ローテーションで活動する。分かち合う・待つことを学ぶ。 【5 歳児】 「ag」が入った単語を並べて文章をつくる。Mag sit on her bag など。子どもたちがつくったものを貼り出す。自分の名前も入れることで目標を持つ。 グループワークも行う。共同作業は重要。 シンガポールには四季がない。旅行先での思い出などを元に四季に関わる制作をし、四季を学ぶ。（春夏秋冬の絵を共同制作で描く） 音楽・ダンスの専用室でダンスをする。少しづつ広い空間に慣れる。 1 週間に 1 回コンピュータを使う。シンガポールでは小 1 でパワーポイントを学び小 2 でプログラミングを学ぶ。小学生でもジュニアのロボット大会に出る。そのためここではパソコンの基本的な使い方を学ぶ。（パスワード入力、画像のサイズ変更、コピーなど） 【6 歳児】 ダンスのコンサート。動き、空間認識、歌を同時にする。フォーメーションで空間認識を学ぶ。 6 歳児が子どもたちに読み聞かせをすることもある。 【you can do it のプログラム】 「自信をもって」「うまくやる」「立ち直り」「やりとげる」									

	自分が怒った時、怖い時、どうするか？ 怒ったり怖くなったりするのは当たり前のこと。その時どう対処するのかを子どもたち自身が考える。 すべての先生が同じ方針でやることで子どもたちのこれからの人生につなげていく。 【オープンコンセプト】 すべての遊具は皆で分かち合う。時間を区切って活動する。 広い施設の空間に慣れ、変化にも対応できるようにする。そのためには先生が密に連携する必要がある。
所見	訪問時、登園してきた子どもは入り口で検温・手に消毒をしてから園内に入っていた。私たちも同じように検温・消毒する。日本で一般的な体温計とは違って、おでこにあてると一瞬で体温が表示された。 まず3歳児クラスを見た。子どもたちは皆落ち着いて遊んでいる様子だった。おもちゃの取り合いや喧嘩がなく静か。おもちゃが十分に与えられていること、自分の番が来るまで待つことを教えているためとのことだった。4歳の子どもたちは、グループに分かれ中国語の勉強をしたり遊んだりしていた。5歳の子どもはパンとリンゴの朝ごはんの時間だった。朝ごはんがでることに驚いた。食事前のお祈りをしたり好き嫌いを減らすためとのこと。朝ごはんが配られるときも我先にと走る子はおらず、落ち着いて並んでいた。6歳の子どもはコンサートの練習をしており、披露してくれた。フォーメーションを組んでのダンスはだいぶ練習しているようだった。全体を通して、聞き分けの良い子が多い印象だった。 2階建ての施設は広く感じたが、スペースが狭く2部制を取っているとのことだった。 外には遊具や砂場があったがグラウンドは見当たらなかった。

施設名	② キャタピラーコーブ ジュロンイースト校
URL	http://www.thecaterpillarscove.com.sg/ （英語）
概要	【位置づけ】 UTUC という研究機関の一環 UTUC ファーストキャンパスの5つの領域 ① マイファーストスクール…100以上の施設がある。 主に公団エリアにあり下流～中流家庭をターゲットにしている保育施設→保育教育施設の量の確保 ② リトルスクールハウス…10～15の施設。 商業ビルやオフィスビル内にある。 ③ アフタースクール…学童保育のようなもの ④ シードインスティテュート…先生達を訓練する施設 ⑤ キャタピラーコーブ…2施設ある。 研究を目的とした施設で、保育教育の質を重視している。口コミで評判を聞いてくる保護者も多い。 > ニーアンポリテクニク（≒高専）校 2007年設立 資金約1億円、関係省庁からの補助と、財団からの寄付でつくられた。 > ジュロンイースト校 2014年設立 資金約6千万円、非営利団体からの幼児教育の環境整備への投資（寄付）により建てた。 【建物】 ジュロンイースト校は、ビル内の1フロアにある。新しいアイディアを追及している夫婦の建築士が内装をデザイン。「見た目が素晴らしい建物」ではなく、

	そこに隠された「意味」を重要視している。 シンプルで何もないデザイン。子どもたちが想像力を働かせられる空間にしている。〇〇かもしれない…山かも？ロボットかも？など⇒「オープストラクチャー」の考え方。 フロアの一部はテラスになっていて、コンクリートむき出しの床の中に砂場がつくってある。この場所には何を作るか迷ったが、価値あるものを子どもたちに与えたいと砂場にした。すべり台などの遊具は公園にもあるので親が連れていくべきと考えている。 【対象】 主に中流～中の上流の家庭が対象。 加えて、政府からの補助金を受けている家庭が10%程度いる。 【スタッフ】 教員の60～70%が大卒の先生。キャタピラーコープは研究という目的があるので、より研究熱心な大卒を多く採用し、考察している。 ただし重視しているのは学歴ではなくスキル。高卒でもスキルがある人は登用される。現在のリーダーティーチャーは高卒。 【管轄】 省庁系の機関「ECDA（エクダ）」の管轄
受入れ年齢	2か月～6歳
保育時間	月～金：7:00～19:00 土 7:00～14:00
保育料	【幼児】 1日 1530.1SGD（約115,000円） 保育料補助 300SGD（約22,000円）※働く女性の場合 半日 1112.8SGD（約85,000円） 保育料補助 150SGD（約11,000円）※働く女性の場合 【乳児】 1日 1819SGD（約135,000円） 保育料補助 600SGD（約45,000円）※働く女性の場合 半日 1391SGD（約105,000円） 保育料補助 300SGD（約22,000円）※働く女性の場合
カリキュラム 保育内容など	【カリキュラムの概要】 <0～3歳> 先生と子どものふれあいを重視。「安心・安全」の信頼関係が大切。今後何をするにしても、その信頼関係がいしづえとなる。 あそび・探索・遊具・道具が大切な時期。 <4～6歳> ① ストラクチャープログラム・・・文字や算数 小学校に入ると必要になるプログラムが用意されている。強制や抑圧して教えることが目的ではない。小学校で必要になることと格差があるといけないので、必要なレベルまで押し上げる。 ② イマージェント・・・劇や工作など ①で覚えたことを②で応用することで、学んだことがつながる。 「カリキュラム」とは、書類のことではない。子どもが朝来てから退園するまでのすべて（経験・ルーティン・人との交わりなど）がカリキュラム。 【言語】 シンガポールでは2か国語以上話すのが普通。ここでは英語と中国語を使う。各クラスに英語の先生と中国語の先生が一人ずついる。 【研究結果の反映】 リサーチセンターは2年5か月とまだ歴史が浅い。大学と連携してカリキュラ

	ムを作り実践している。 マイファーストスクール（100 施設以上ある）は保育の「量」、キャタピラーコースが保育の「質」について実践。それぞれの実践結果のデータを集めている。子どもたちを見てどのように反応しているかなどをチェックし、専門家にデータを渡し分析してもらう。長期スパンでの研究となる。 これとは別に、政府からの補助金が出るプロジェクトがある。今回は、博物館やアートセンターと提携し、「子どもたちが現代アートをどのように見ているか」というのを研究テーマにしている。補助金の使途は、専門家への委託費や分析費などプロジェクトに関わるものに制限されている。 運営費の補助金はないが、マイファーストスクールは政府のアンカー事業に該当しており、補助金が出ている。 【人件費】 給与の基準は決められていないため、組織によって違う。収入の 60%が人件費。基本的な収入は保育料のみで大変だが、投資と考えなるべく給与を上げられるように努力している。ボーナスも出すようにしている。 幼児教育従事者は、金融など他業種に比べて処遇が低く、小中学校教師よりも地位が低く見られがち。しかし幼児教育の方が重要であるという認識は広まってきており、スタッフは誇りをもって働いている。 いくら研究を行っていても「保育の実践」が大切。園長の仕事はスタッフがやる気を出すよう、質の向上に努めること。 【セキュリティ・地域交流・その他】 ・ 入り口ではナンバーロック錠でパスワードを入力する。外には監視カメラがある。園内には一切カメラを置いていない。（保護者との信頼関係のため）仕切りのないフロアなので、子どもたちの様子は見渡すことができる。 ・ 6 か月ごとの避難訓練が義務付けられている。 ・ 地域の学校とのパートナーシップをとり交流している。 多くの子どもたちがスマートフォンをずっと触っている状態は危険。技術を有意義に使いこなせるようにしたい。 ・ 砂場は空間が少ないためグループに分かれて交代で使用。このほか病院にいったり公園に行ったり外で歩き回っている。
所見	ビルの中なのに木が植えてあったりと、おしゃれなビルの中にある。 ここでも保育園の入り口で検温と消毒をして入る。最初に行ったアセンション幼稚園と違い、送迎時に泣いている子どもがいたり、先生に呼ばれても机の下にかくれてなかなか出てこない子がいたり、子どもらしさが見れたように思えた。 ワンフロアで壁がないので、あちこちからざわざわ声が聞こえた。 1 歳半の子ども達がこれからお昼ごはん、というところだった。保育室には手洗い場がなく、みんなトイレに行って手洗いをしてから食堂に行き席についていた。具無しのスパゲティのようなものが用意されていた、時間がなく食べるころまでは見られなかった。 砂場のあるテラスはビルの中なのに外？という感じで楽しそうなスペースだった。 園長先生は 30 歳前後ぐらいで、若くて驚いたが、シンガポールは実力主義なので珍しいことではないとのこと。プレゼンに慣れているようで話も上手かった。幼児教育は重要な仕事であるにも関わらず、他業種と比べ処遇が低めであることは、日本に通じるものがあつた。

施設名

③ チェリーハーツ ディスカバリーランド

URL

<http://www.cheriehearts.com.sg/> （英語）

概要	フランチャイズの私立園 ビル内の一角にある。 中流～上流家庭がターゲット
受入れ年齢	3か月～6歳
保育時間	7:00～19:00
保育料	【3か月～1歳6か月】 1日1,650SGD（約124,000円） 保育料補助600SGD（約45,000円） 【1歳6か月～6歳】 1日1,819SGD（約90,000円） 保育料補助300SGD（約22,000円） ※2人目は5%オフ
カリキュラム 保育内容など	将来のリーダーを育てる 道徳的価値を大切にする 愛情と思いやりを持つ 社会貢献をする チャリティ・カーニバルを開催し低所得の団体に寄付 【スローガン】 ・環境的に優れたことをする。質の高いカリキュラムで子ども達を育成する。園で10～12時間過ごす子もあり、第2の家庭。衛生面にも配慮する。 ・フランチャイズで同じカリキュラムを使い、同じように学ぶことで質の均一化を図る。系列園と合同での研修も行う。 ・父兄はパートナーとして考えている。コアとなる父兄を中心としてイベントなどに積極的に参加してもらっている。年に1回ファミリーデイイベントを行っている。 【中心となる価値観】 ・正當に正しく評価する。 自分だけでなく周りの人たちが良くなるように努め、自分たちがいかに恵まれているかを知り、他人に分け与える。 ・尊敬の念を持つ 人にも物にも尊敬の念を持ち、大切にする。 ・確固たる信念 すべての子どもはみんな違い、それぞれが潜在能力を持っている。 ・チームワーク 先生たちのチームワークを子ども達にもつなぐ。仲間を大切にする心を持つ。 ・学ぶことへの情熱 病院の研修医10名を園に呼び、子どもたちに手術のデモをしてもらった。 【食事】 半日の子どもはランチを食べる。1日の子どもは朝ごはん・ランチ・おやつを食べる。 アレルギーのある園児は、その子どもの情報をスタッフが共有して対応している。 【カリキュラムの実践】 どうやって価値観を教えているか 多様性を教える（ゾウの種類も1種類だけではない。） 考えていることを子どもたちに話す。書く。貼る。 子どもたちは学んだこと（環境について・経済についてなど）を保護者に話す。 【救急】 職員の90%がファーストエイド（救急処置）の資格を持っている。 看護師の配置はなし。 【家庭との連絡】 連絡ノートがある。細かく記入するようなものではない。

所見	低年齢児の保育室、ホールは壁で仕切られていた。壁には大きな窓がたくさんあり、隣の部屋もよく見渡せる。幼児の保育室・食堂・図書コーナーは、棚などで仕切ったオープンスペースになっていた。壁面にはカラフルな装飾や、子どもたちの制作物が所狭しと飾られていた。 日本では年カリ・月カリ・週案・日案・保育日誌などの多くの書類を作っているという話を聞き、シンガポールの先生方は驚いていた。ここではそこまでしていないとのことだった。
----	--

施設名	④ オデッセイ ザ グローバルプリスクール								
URL	http://theodyssey.sg/ (英語)								
概要	・富裕層の住む地区ブケティマエリアにある。子どもの学業のためにブケティマに引っ越してくる人もいる。オデッセイの利用者も裕福な人が多い。 ・警察学校だった場所をリノベーションし8年前にできた。新しく見えるのは定期的に壁を塗り替えているため。								
受入れ年齢	18 か月～6 歳 園児数は 230 人 (日本人が 2 名いる) 開園時は 60%が外国人、シンガポール人が 40%だったが、現在は割合が逆になった。 スタッフは 55 人 (先生が 30～40 名と調理師・庭師など) 職員配置 <table border="1"> <tr> <td>18 か月</td><td>4 : 1</td></tr> <tr> <td>～3 歳</td><td>6 : 1</td></tr> <tr> <td>4 歳</td><td>8 : 1</td></tr> <tr> <td>5.6 歳</td><td>10 : 1</td></tr> </table> 各クラスのリーダーの先生はあそびとカリキュラムの専門性を兼ね備えている	18 か月	4 : 1	～3 歳	6 : 1	4 歳	8 : 1	5.6 歳	10 : 1
18 か月	4 : 1								
～3 歳	6 : 1								
4 歳	8 : 1								
5.6 歳	10 : 1								
保育時間	半日 7 : 00～13 : 00 1 日 7 : 00～19 : 00								
保育料	半日 1,800SGD (約 135,000 円) / 月 保育料補助 150SGD (約 11,000 円) ※共働きの場合 1 日 2,000SGD (約 150,000 円) / 月 保育料補助 300SGD (約 22,000 円) ※共働きの場合								
カリキュラム 保育内容など	【プログラム】 イタリアの「エッジョエミリア」のプログラムを、シンガポールに適用できるように調節して使用している。 ・子ども中心 ・継続的な革新 (同じカリキュラムを使用してもクラス毎に少しずつ変える) ・外部とのコラボ (保護者、チャリティー団体、警察に来てもらうなど) ・先生へのトレーニング (読み聞かせの勉強など、費用を園が負担する) ・多様性を受け入れる (いろいろな国の子どもを国籍に関わらず受け入れる。障害も多様性として受け入れる) 【カリキュラム】 ・英語 ・数学 ・プロジェクトワーク…年間 4 つのプロジェクト。(例 : 料理) ・中国語…すべてのクラスに中国語の先生がいることで、中国語がいつもそばにある環境をつくっている。 ・アート…音楽室・美術室があり、音楽・美術の学位を取っている専門の先生がいる。 ・フィットネス…運動。床を這う、スキップなど								

・クリエイティブカリキュラム…料理、外に出る、感情的・文化的なことに注意を払う

リーダを中心に、グループで年間カリキュラム・シーズンごとのカリキュラムをたてる。

【施設】

・ピアザ…本来は「市場」の意味。ここではみんなが遊べる場所。17:00以降はお迎えがくるまでピアザで合同クラスで過ごす。お迎えに来た保護者が子どもと一緒にピアザで遊んでもよい。

・ディプランゾ…食堂。2か所ある。

・リトルシェフラボ…子どもたちが料理をする場所。大人の調理室とガラスで仕切られているので、大人が調理する様子を見たりにおいをかいだりして学ぶことができる。18か月の子どもも料理を作る。料理をするのに早すぎるとは考えない。子どもたちは吸収が早い。

・ミュージックアンドダンススタジオ…様々な楽器がおかれている。

・アトリエ…子どもの博物館

【障害児】

軽い障害であれば健常児と一緒に過ごす。

重い障害の場合は専門のセラピストを雇って一緒に来てもらう。

【保護者との連携】

連絡帳はない。送迎時の会話やEメールで連絡をする。写真はアプリにアップロードする。(2週間ごとに更新)

父兄のサポートグループがある。父兄とアーティストがコラボして制作をつくる。(3歳児のエコプロジェクトで、牛乳の空パックを利用してかまくらをつくった)

【シアタープロジェクト】

Ipadで音を出してコンサートをする。21世紀のテクノロジーの使い方を先生に見てもらいながら学ぶ。

「卒園コンサート」について、子どもたちは自分たちが知っていることを壁に貼り、どういう役割が必要かを考えて組み立てる。

興味を探りプロジェクトを進めていく。リサーチによりプロジェクトの方向性も変わっていく。

計画→実践→反省

【文字】

3歳まではアルファベットの「形」を認識する。

4歳から文字を書く。

【各年齢のプロジェクト】

昨年5歳児はインディアンパンケーキ屋さんを子どもたちが0から行った。

宣伝・マーケティング・提案書→起業家精神をやしなう。

18か月の子どもたちも手伝って売買をやってみる。→保護者が購入し、売り上げは寄付される。

4歳児はパフォーマンスをして自信をつける。

18か月～3歳児はチルドレンシアターで保護者の前に立つことに慣れる。

【制作】

アトリエには専門の先生がおり、子どもたちはここで作品をつくる。使っている材料が多様なのが他園との違い。期によって「影」「光」などのテーマでプロジェクトを行う。

子どもたちは、実際の博物館を借りて自分たちが作った作品の展示会を行う。展示会の売り上げはチャリティー機関に全額寄付される。

【男性の保育士について】

男性の先生が子どもをトイレに連れてはいったりおむつ替えをすることはしな

	い。乳幼児の担当もさせない。これは、男性の先生が訴えられないよう守るため。
所見	登園してきた子どもがおり、タブレットで顔の画像認識を登園の登録をしていた。 この園は高台にあり景色が良く、広い敷地内には畑や様々な果物の木がある。広い園庭もある。音楽室には色々な種類の楽器がある。アトリエにはいろいろな材料や美術書もたくさん置いてある。子どもたちは、恵まれた環境で自分たちが作ったものを売る経験をしたり、展示会に作品を出したり、様々な経験を重ねていくことで自信をつけていくことができるように感じた。

施設名																																								
⑤EIS インターナショナルプリスクール（ウエスト校）																																								
URL																																								
http://www.eisintl.com/ （日本語）																																								
概要																																								
・2007 年設立。（イースト校もあり、そちらは 2005 年設立） ・老人ホームを改修してつくった。 ・土地は 10 年契約で、来年で期間満了。入札でローカル幼稚園に負けてしまい立ち退かなければならなくなってしまった。来年からはセントーサ島に移転する。 ・MOE（教育省）の認可を受けたインターナショナルカテゴリの幼稚園。主に日本人向けだが、日本人ではなくても入ることができる。 ・ほとんどの子が両親もしくは親のどちらかが日本人で日本語を母国語としている。まれにそうでない場合もある。（今後日本に住む予定がある家庭の子など） ・日本人職員の採用は、日本に求人を出して募集。できればシンガポールまで面接に来てもらうが、できない場合はスカイプで面接をすることもある。ビザで働いている日本人職員（シンガポール永住権のある職員は対象外） 1 人につきシンガポール国民 5 名を雇用する必要がある。																																								
受入れ年齢・定員																																								
満 2 歳の誕生日から利用可能 現在の在園児数は約 160 名																																								
	<table><tr><th></th><th>クラス</th><th>年齢</th><th>定員</th><th>担任配置 ※A はアシスタント（英語）</th></tr><tr><td rowspan="6">同年齢クラス</td><td>K2</td><td>5 歳児</td><td>30 名</td><td>英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて</td></tr><tr><td>K1</td><td>4 歳児</td><td>30 名</td><td>英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名</td></tr><tr><td>N2</td><td>3 歳児</td><td>24 名</td><td>英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名</td></tr><tr><td>N1 Moon</td><td rowspan="2">2 歳児</td><td>24 名</td><td>英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名</td></tr><tr><td>N1 Raindrop</td><td>16 名 ～24 名</td><td>英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて</td></tr><tr><td>N1 Star</td><td>満 2 歳児</td><td>12～14 名</td><td>英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて</td></tr><tr><td>異年齢 クラス</td><td>Milkyway Aurora</td><td>3～5 歳 児</td><td>25 名</td><td>英語 1 名/日本語 1 名 A 各クラス 1 名</td></tr><tr><td colspan="3">合計</td><td>161～171 名</td><td></td></tr></table>		クラス	年齢	定員	担任配置 ※A はアシスタント（英語）	同年齢クラス	K2	5 歳児	30 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて	K1	4 歳児	30 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名	N2	3 歳児	24 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名	N1 Moon	2 歳児	24 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名	N1 Raindrop	16 名 ～24 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて	N1 Star	満 2 歳児	12～14 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて	異年齢 クラス	Milkyway Aurora	3～5 歳 児	25 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 各クラス 1 名	合計			161～171 名	
	クラス	年齢	定員	担任配置 ※A はアシスタント（英語）																																				
同年齢クラス	K2	5 歳児	30 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて																																				
	K1	4 歳児	30 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名																																				
	N2	3 歳児	24 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名																																				
	N1 Moon	2 歳児	24 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 1 名																																				
	N1 Raindrop		16 名 ～24 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて																																				
	N1 Star	満 2 歳児	12～14 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 必要に応じて																																				
異年齢 クラス	Milkyway Aurora	3～5 歳 児	25 名	英語 1 名/日本語 1 名 A 各クラス 1 名																																				
合計			161～171 名																																					
2 歳児→3 歳児クラスに上がるときに、同年齢クラスか異年齢クラスか選べる。（途中変更はできない）																																								
保育時間																																								
9:00～15:30 延長保育もない。（日本からの駐在員の家庭が多く、母親は働いていない場合が多くニーズは少ない。母親が働くことを禁止している企業もある）																																								

保育料	約 10 万円/月 （保育料は全クラス共通） 園の運営収入は保育料のみ。 ローカル園でないため政府から利用者への補助金もない。 駐在員家庭は、企業が保育料を負担してくれる場合もある。（企業が全額負担してくれる場合もあれば、全額自己負担の場合もあるなど、企業により状況はさまざま）
カリキュラム 保育内容など	【言語】 母国語である日本語を大切にしているが、シンガポールにいますので英語も学ぶ。英語担任（アジア人）と日本語担任を配置。 子どもたち同士で日本語の会話が多くなるので、教育は英語 2：日本語 1 ぐらいの割合になるようにしている。 子どもたちは先生から英語で指示を聞いて何かをするということに慣れており、英語の先生も日本語の先生も同じように受け入れている。 アジア人の先生は、今その瞬間に困っている子どもに最大限の愛情をかけて接するので、子どもが落ち着くのが早い。 【文化】 将来日本に帰っていく子どもたちが、「日本人としてのアイデンティティ」を持てるようにしている。 たとえば、給食のときはお箸を使う、座って食べる習慣をつける（外国では立ったままものを食べるものあたりまえ）、履き物をそろえる習慣などを大切にしている。 【教育】 先取り教育はあまりしていない。小学校でやることは小学校に入ってからやれば良い、この幼児期にできることをする。人にやらされたことは後に残らないが、自分でやりたくてやったことはずっと残る。子どものやりたい気持ちを大切にするという方針。 ひらがなや英語を学ぶのにワークシートを使うことはしない。活動の中に英語を入れたり、数字を入れたりして学ぶようにしている。 2 週間ごとにテーマ設定をし、テーマに沿った活動を行っている。 週案も立てる。シンガポールでは、幼稚園でも子どもの成績表をつける。 【小学校との連携】 日本人小学校と連携を取っている。子どもたちが入学後に困っていることもあまりない。 日本人小学校は 4 月はじまりなので、幼稚園も 3 月卒園。インターナショナルの小学校に通う子どもは小学校が 1 月始まり。早めに卒園してインターナショナル幼稚園で中国語を勉強してから小学校に入る。 【保護者との連携】 保護者との連絡帳がある。保護者からの質問が多い場合は連絡帳の減りが早い。毎年保護者代表との懇談をしている。 幼稚園をぼろぼろと変える家庭は結構多い。子どものことを考えると、自分の家庭にあった園を選び長く過ごすのが良いと感じる。 【統合保育】 配慮が必要な子は各クラスに 2～3 名いる。シンガポールでは障害児の受け入れ先が少ないため、多く集まる。 建物がバリアフリーでないため障害によっては受け入れられないこともあるが、積極的に受け入れている。健常児にとっても、障害児と一緒に過ごすことは心の成長につながる。 【行事】 行事を行うが、日本の行事よりもっと簡単なもの。物足りないという保護者もいる。 運動会…ファミリーファンデーみんなで体を動かす日。

	発表会…いつもと違う舞台で自分を発揮する機会。
所見	訪問時、異年齢の子どもが屋根のあるオープンスペースで「スイミー」の練習をしていた。 建物内は一部しか見ていないが、建物のつくりが老人ホーム仕様で、使い勝手は悪そうに感じた。芝生の園庭は広くゆったりとしていた。 壁の制作物などが日本の保育園と同じような雰囲気。保育の方針も日本的で、シンガポールの競争社会から少しはずれたところにいるように感じた。 見学時間が少なくじっくりと見れず残念だった。

4. まとめ

シンガポールの保育料相場は日本に比べて高い。基本的に運営費の補助金はなく保育園ごとに保育料を決めているとのことだった。

シンガポールの保育園は日本の保育園と比べて運営に関する決まりごとが少なく、園ごとの裁量に任されている部分が多いように感じた。今回訪問した園はそれぞれ特色豊かだった。

その中で共通していた方針が、国際的に通用する子どもを育てること、子どもの独立心・起業家精神を育むこと、価値観を大切にしていることだと思う。これらはシンガポールの国全体の方針や考え方のような感じだった。

土地が狭く資源が少ないシンガポールでは国民を財産として大切にしているとのこと。そのため教育にとっても力を入れている。シンガポールの幼稚園・保育園では多言語教育が当たり前。様々な言語、様々な人種が身近にある環境の中で育つことで、子どもたちは国際感覚が身についていくように感じた。

シンガポールでは、他国の大企業の拠点が人件費の高騰によりベトナムなどの他国に移ってしまい、失業率が上昇した経緯がある。対策としてシンガポール国民の起業に約 400 万円の補助金を出し起業を推進した。（この補助金は事業に失敗しても返済の必要はない。）

また、「価値観」に関してシンガポール人は多様性を受け入れ周りの人を大切にしている。いじめや汚職はほとんどないとのことだった。

今回の研修でシンガポールの文化や保育環境を見ることができ勉強になった。また自分は日本の保育のことについても知らないことだらけだと思った。

今回の訪問先は中流～上流家庭が対象の園ばかりだったため、下流寄りの家庭も通うような園の様子も見られたら良かったと感じた。

5. 写真

別添資料参照

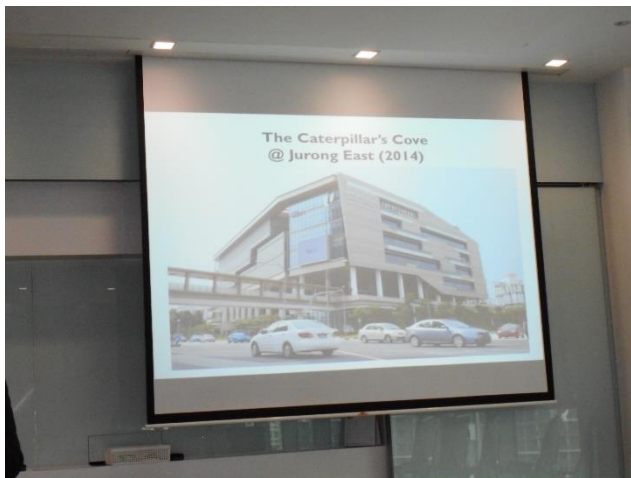
アセンション幼稚園





キャタピラーコーブ





Fee Structure – Childcare; Singapore Citizens
Monthly Fees Schedule with effect from 1 January 2016

Working Mothers:

	Full Day Fees (\$)	Half Day Fees (\$)
Monthly Fees	1430 + 100.10 (GST*) = 1530.10	1040 + 79.80 (GST*) = 1119.80
ECDA** Subsidies for Working Mother	300 (Nan)**	150 (Nan)**
Net Fees Payable	1230.10	969.80

Non-Working Mothers:

	Full Day Fees (\$)	Half Day Fees (\$)
Monthly Fees	1430 + 100.10 (GST*) = 1530.10	1040 + 79.80 (GST*) = 1119.80
ECDA** Subsidies for Non-Working Mother	150 (Nan)**	150 (Nan)**
Net Fees Payable	1380.10	969.80

Payment:

Description	1 Month Deposit (\$*) - (W/O GST)	1st Month Fee (\$)	Registration Fee (\$32) with 3% day trial period
Working Mothers – Full Day Childcare	1430.00	1230.10	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00
Working Mothers – Half Day Childcare	1040.00	969.80	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00
Non-Working Mothers – Full Day Childcare	1430.00	1380.10	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00
Non-Working Mothers – Half Day Childcare	1040.00	969.80	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00

Fee Structure for Infant Care; Singapore Citizens
Monthly Fees Schedule with effect from 1 January 2016

Working Mothers:

	Full Day Fees (\$)	Half Day Fees (\$)
Monthly Fees	1700 + 119 (GST*) = 1819.00	1300 + 91 (GST*) = 1391.00
ECDA** Subsidies for Working Mother	600 (Nan)**	300 (Nan)**
Net Fees Payable	1219.00	1091.00

Non-Working Mothers:

	Full Day Fees (\$)	Half Day Fees (\$)
Monthly Fees	1700 + 119 (GST*) = 1819.00	1300 + 91 (GST*) = 1391.00
ECDA** Subsidies for Non-Working Mother	150 (Nan)**	150 (Nan)**
Net Fees Payable	1669.00	1241.00

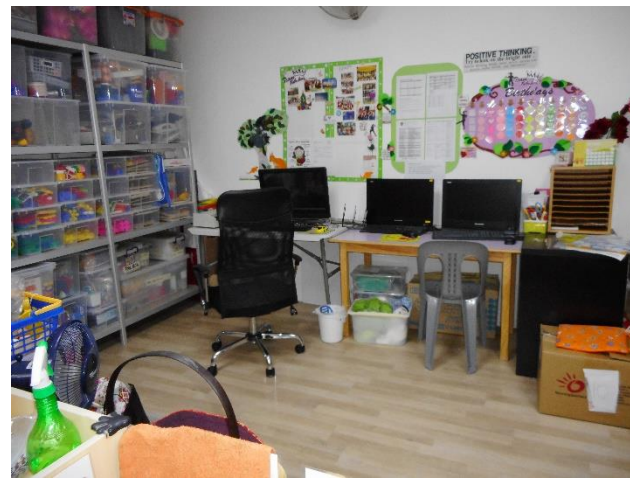
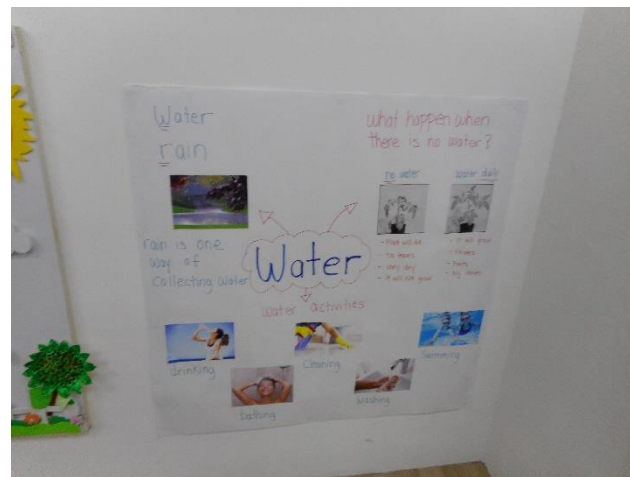
Payment:

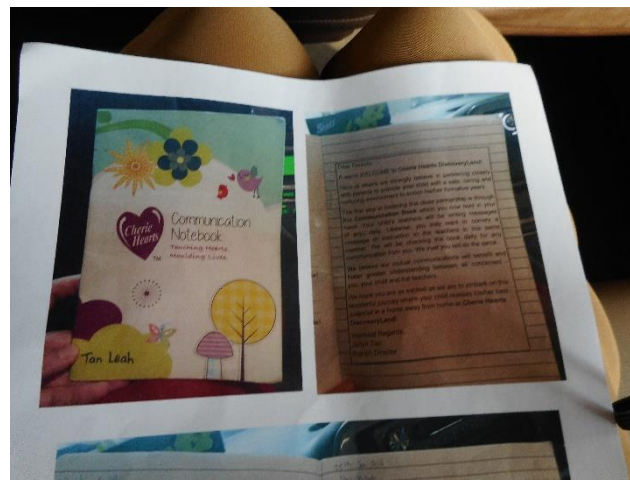
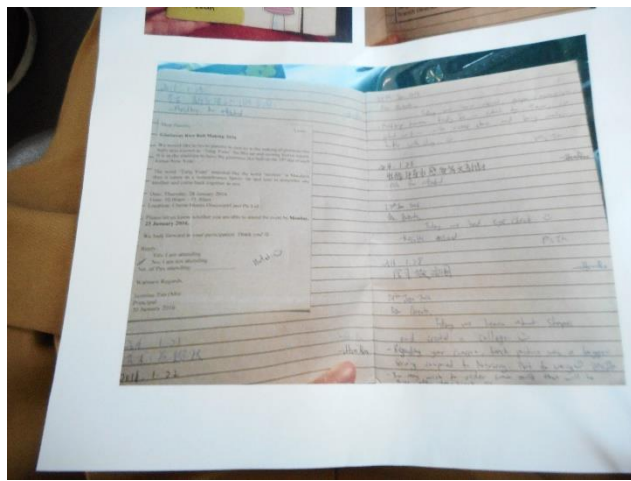
Description	1 Month Deposit (\$*) - (W/O GST)	1st Month Fee (\$)	Registration Fee (\$32) with 3% day trial period
Working Mothers – Full Day Infant Care	1700	1219.00	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00
Working Mothers – Half Day Infant Care	1300	1091.00	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00
Non-Working Mothers – Full Day Infant Care	1700	1669.00	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00
Non-Working Mothers – Half Day Infant Care	1300	1241.00	100 + 7.00 (GST*) = 107 200 + 14.00 (GST*) = 214.00

チェリーハーツ ディスカバリーランド









EIS インターナショナルプリスクール



